策定年月	令和5年4月
見直し年月	令和7年7月

麦・大豆国産化プラン

産地名:伊賀市

(作成主体:伊賀市農業再生協議会)

1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

伊賀市は、全耕地面積(令和6年:5,940ha)に対して主食米の作付割合が約58.8%(令和6年:3,491ha)を占める水田地域である。

近年、主食用米の国内需要が減少する中で、将来を見据え、加工用米等の生産拡大、園芸品目の導入等と併せて、麦の生産拡大及び団地化面積の向上図る必要がある。

麦の生産拡大にあたっては、担い手への集積が急速に進む状況を踏まえ、従来使用機種と比較して作業効率や省力化が図れるオートコンバインの導入など、効率的作業を可能とする生産性の高い麦産地づくりを推進するとともに、伊賀市で例年課題となっている赤かび病の防除を適期に2回以上行う。

また、実需と密接に連携し需要が拡大基調である品種へ生産を移行していくとともに、優良品種への切り替えを実需の理解を得ながら進める。

現在、伊賀市においては、水田収益力強化ビジョンなどにより水田活用の推進に取り組んでいるが、本計画において、麦生産性向上・生産拡大に係る取組をより具体化するとともに関係者の連携を強化し、農業の更なる活性化を図っていく。

[※] 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

[※] 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

2. 産地と実需者との連携方針

①需要に応じた生産と販売の実現

麦について、伊賀市で生産している品種「タマイズミR」は全農三重を通じて県内外の実需者へ出荷しているが、近年、タマ イズミRの需要が減少している。課題となっているたんぱく質含量の低さを改善するために追肥技術を導入するとともに、将来 的には適正生産量を維持した上で、需要がある「さとのそら」等新品種への切り替えを産地として検討していく。

②麦の生産性の向上に向けた技術の導入

麦については、適期作業による生産性の安定や収量向上を目的として、オートコンバインを導入する。

生産量目標

	作物名品種名	口括夕	令和6年産(現状)			令和11年産(目標)			備考
1		四性石	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)	1佣石
	小丰	タマイズミR	451.8	33.93	153.3				R6年産は赤かび病 により収量減少
	小麦	さとのそら				400.0	200.0	800.0	R8年産から品種切り替え
作物計		451.8	33.93	153.3	400.0	200.0	800.0		

実需者取扱数量目標(単位:t)

	タマ	イズミR	さとのそら		
実需者	令和7年度	令和11年度	令和7年度	令和11年度	
実需者	100.0	0.0	1,800.0	1,300.0	

※実需者取扱量のうち令和7年度数字については見込み数字とする。

- ※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。
- ※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者(製粉会社、製パン会社、製麺会社等)とする。
- ※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。 なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先(最終実需者)について、代表的な者の名称を記載すること。
- ※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

3. 麦の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割

麦実需者



JA全農みえ (牛産者団体)

- ・販売、流通、集荷体制の構築および調整
- ・支援事業の構築、推進

県農産園芸課 (水田農業関係部局)

- ・ 麦 の 牛 産 振 興
- ・推進計画のとりまとめ ・支援事業の構築、推進

県中央農業改良普 及センター (技術指導担当部局)

- 技術の取集、普及、指導 支援事業の構築、推進
- 県農業研究所 (新技術実証試験担当部局)
- ・技術の取集、指導、構築 ・支援事業の構築、推進
 - 推進のための組織
- ①民間流通地方連絡協議会(需給に向けた協議)

JA全農みえ、実需者、三重県米麦協会、JA三重中央会、三重県、 東海農政局(オブザーバー)

②麦作振興対策会議(振興に向けた協議)

三重県、JA全農みえ、JA三重中央会、三重県米麦協会、小麦実需者

・連携

JA三重中央会 (生産者団体)

- ・各JAとの連携、支援
- ・支援事業の構築、推進

県担い手支援課 (農地集積、人・農地 プラン担当部局)

- ・農地集積・集約の推進
- ・人・農地プランの推進

県農業基盤整備課 (基盤整備担当部局)

- 基盤整備事業の情報提供
- 基盤整備事業の実施

産地

麦・大豆国産化プランに基づいた推進

伊賀市農業再生議会 (産地協議会)

伊賀市農林振興課

- ・麦国産化プランの作成
- ·事業実施計画(麦生産技術向上事 業)の取りまとめ
- ・麦の生産振興
- ・農地集積・集約の推進
- ・人・農地プランの推進

JAいがふるさと

- ・販売、流通、集荷体制の 構築および調整
- ・ 麦の生産振興

- ・指導助言
- ・支援の実施



- ・状況報告
- ・事業実施計画 (麦生産技術向 上事業) の提出

伊賀農林事務所

伊賀地域農業改良 普及センター

- ・支援事業の構築、 推進
- ・農地集積・集約 の推進
- ・人・農地プラン の推進
- ・技術の取集、普及、 指導
- ・支援事業の構築、

取 \mathcal{O} 中

- ※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。
- ※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。